

東日本大震災生活研究プロジェクト 第2期研究員募集について

(一社)日本家政学会では、2011年5月の大会で緊急シンポジウムを開き、研究員を募集し、12月に第1回の研究会を開催し、表記プロジェクトをスタートさせました。本プロジェクトでは石巻市を拠点として、復興、再建に向けて可能な支援を行いながら、生活復興における様々な課題を明らかに再建の道筋を探る取り組みをしてまいりました。その成果は、毎年の家政学会での報告会、研究発表、学会誌での研究報告、単行本の発行などを通じて、会員の皆様に公表をしております。また研究費としては、会員の方からの寄付や3つの科学研究費ならびに学会からの助成金を使用させていただいてきました。

スタート時に10年20年続く息の長い研究になることを想定しつつも、まずは第1期5年間の取り組みを行うこととしました。その第1期も終わりに近づいております。震災復興状況を見てみますと、仮設住宅はまだ残っており、復興公営住宅への移転も始まったばかりで、津波で大きな被害を受けた中心地区の街の再建はこれからです。そこで、本研究プロジェクトは第2期を継続させることにいたしました。

第2期では第1期のメンバーを主軸としつつも、以下のような新規メンバーを募集することといたしました。ご関心のある方の積極的な応募をお待ちしております。なお、応募者多数の場合は、東北地区会員を優先し、かつ、研究領域や関心などを踏まえて、プロジェクトメンバーで選抜させていただきますことをご了承ください。

第1期代表 大竹美登利 (東京学芸大学)

第2期代表 坂田 隆 (石巻専修大学)

記

募集人数：若干名

応募資格：日本家政学会会員で分野横断的な研究に関心が高く、このプロジェクトを牽引していく意欲があり、石巻に調査出張が可能な方 (自薦・他薦可)。

研究成果：個人の個別成果とはせず、プロジェクトの成果として公表する。

応募方法：2016年10月末までに、日本家政学会事務局へメールで申し込む。

応募書類：氏名、会員番号、1000字程度の応募動機 (研究業績、貢献できる内容等)

以上